



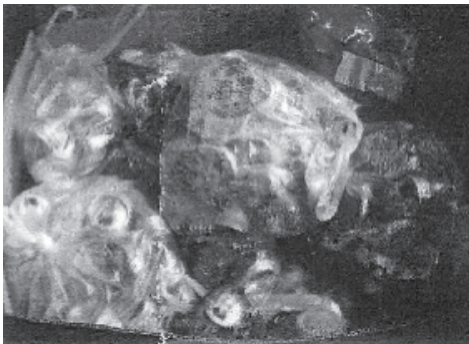
総合的な学習のまとめとしての募金活動

報告者 岡山県岡山市立平福小学校 奥山和樹先生

ポイント

岡山市立平福小学校6年生は、総合的な学習の時間に「世界の子ども達の現実を見つめ、みんなが幸せになるために何ができるか考え、実行しよう」というテーマで、1年間にわたり学習を続けました。

その集大成として、「貧困や栄養不足で困っている子ども達を応援したい」という子ども達の願いを実現するために行った実践活動。募金活動を行ったグループ、プルタブとアルミ缶を集めて換金したグループなどがありました。集まったお金はユニセフに送りました。



みんなで協力して集めたアルミ缶の山。一人ひとりのまごころがこもっています。

私たちは、全校の皆さんに募金の協力してもらいました。こんなに集まりました。



児童の感想

・ぼくたちは、一学期から今日まで計画してアルミ缶をあつめました。始めビデオを見るまでは、世界の人ことは、あまり知りませんでした。でも、ビデオを見て、「カンボジアには、こんなに苦しんで生きている人がいるんだ。」と思いました。そこで平福小のみんなに協力してもらってアルミ缶をあつめ、お金にしました。ぜひ、カンボジアの子どもたちにコンロ・なべをあげてください。

・ぼくたちは、平福小学校6年生の「栄養不足の子どもたちを助きたい」グループです。今までぼくたちは、栄養不足で苦しんでいる子どもたちに、薬を贈ることはできないかと考えました。そして、全校の皆さんに協力していただき、募金で集まったお金で、薬にかえていただければと思います。